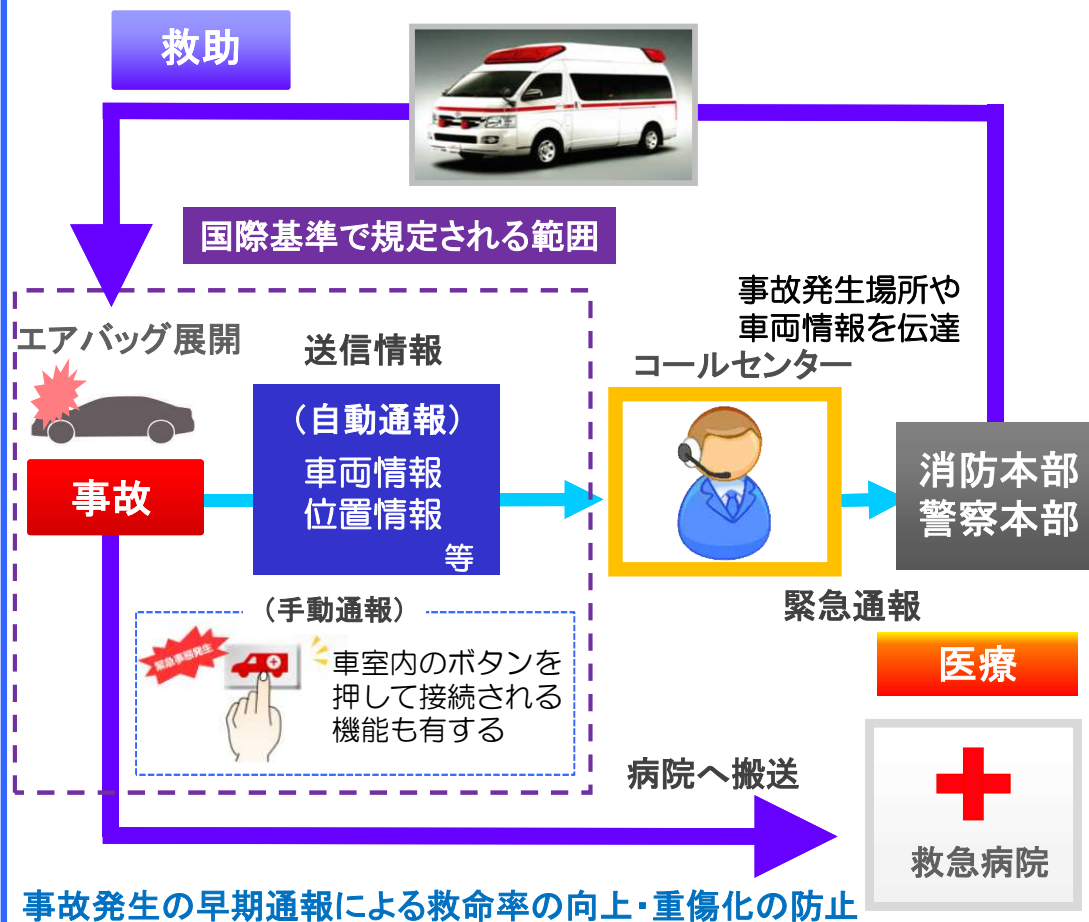


事故自動緊急通報装置の国際基準について

- 事故自動緊急通報装置とは、エアバッグが展開するような大きな事故が発生した際、自動的にコールセンターへ通報するシステムをいう。
- 事故発生時の位置情報を迅速に通報することにより、救助・救急機関が事故を早期に覚知することができ、さらには事故の負傷者の治療をいち早く開始することが可能となることから、救命率の向上や傷害の重傷化の防止に資する装置として期待されている。

事故自動緊急通報装置の概要



国際基準の概要

2017年11月 国際基準が成立

○対象となる車両

- 乗車定員9人以下かつ車両総重量3.5t以下の乗用車
- 車両総重量3.5t以下の貨物自動車
- *エアバッグを搭載しない車両等は適用除外

○通報手段

- 自動通報と手動通報の両方の機能を備えること
- 音声通話ができること

○発報する主な情報

- 事故発生時の位置情報
- 車両の情報（車両種別・車台番号・向き）
- 事故発生時刻
- 自動通報されたものか手動通報されたものかの識別情報

○機能要件

- 前面/側面衝突試験時に適切に送信情報が発報される